

教育随想



平成 30 年 8 月 1 日

8 月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

- 教育随想…………… 1
NHKアナウンサー
杉浦 友紀氏
- この人に聞く…………… 2
家下川を美しくする会 会長
保田 眞吉氏
- 羅針盤…………… 2
六名小学校 十河 幸代
- ふれあい…………… 3
井田小学校 松野恵理奈
- 特集…………… 4
校章あれこれ
～中学校編～
- お知らせ…………… 6
- フォト・ヒストリー… 8
アースワーク展
(昭和 55 年)
- この本を…………… 8

掲載期間終了





河川敷美化活動が人を結ぶ

家下川を美しくする会 会長
保田 眞吉 氏

平成二十七年、「家下川を美しくする会」が、国の「河川協働団体」に指定された。矢作川の協働団体指定としては、岡崎市で初めてである。「家下川を美しくする会」が発足したのは、平成十八年のことだ。

「子ども会や小学校のPTAの方々から、地域住民が運動をするための多目的広場がほしいという声が上がりました。それを受けて、当時の総代会長が会を立ち上げました。」

設立当時の家下川河川敷は、広場とは程遠い状況だった。

「家下川は、北野小学校区の北部を流れる川です。矢作川の支流で、矢作川の堤防のすぐ下を流れているので、不法投棄しやすい場所でした。だから、投げ捨てられたごみであふれて

いました。竹林もうっそうと茂っていました。」

保田氏が会長を引き受けてからの十二年間、苦勞の連続だった。

「草刈り機に雑草のつるが巻き付き、作業は、思うように進みませんでした。竹は一抱えもある太さでした。だから、のこぎりで切った竹を、込み入った竹林の中から引つ張り出すのが大変でした。五、六人で力を合わせてやっとなというような状態でした。会員だけで行う活動には、限界があると感じました。」

保田氏はこの状況を何とかしたいと、地域に美化活動への協力を呼びかけた。

「消防団や老人クラブなど学区の各種団体を手始めに、学区にある複数の企業や中学校、高等学校などを訪ねてまわりました。そして、会の活動について説明し、協力を依頼しました。うれしかったのは、どこへ行っても、みなさんに快く協力をいただいたこと。学校からは、部活動の顧問の先生と生徒さんたちが参加してくれましたし、企業からは、海外から来ている研修生まで出てくれました。刈った草や竹を運ぶ車は、各町から好意で出していたいています。河川協働団体に指定されることで、諸機関からの支援も受けられるようになりました。」

徐々に協力者が増える様子を、にこやかに語る保田氏の表情から、活動

の原動力が、地域住民の協力の輪であることがうかがえる。

「伐採した竹は、老人会と協力して竹箆を作成し、北野庵跡での『お月見の会』に、また竹馬や竹トンボに作り替え、小学校の『むかしの遊びをする会』に提供します。子供たちの笑顔を見ると、張り合いを感じます。小学校をスタートし、近くの日名橋下の家下川河川敷をゴールにした『歩け歩け大会』も毎年開いています。子供から高齢者まで多くの参加があります。みなさんが楽しめれば、それでいいのです。」

今では広場が整備され、子ども会の活動や、ふれあいの場として活用されている。地域住民の笑顔喜びとする保田氏には、ささやかな展望がある。それは、家下川河川敷を公園化した後、トイレを整備し、さらに利用しやすくすることだ。

地道な活動が結んだ人々の輪。河川敷には多くの笑顔がはじけている。



氏名 ほた しんきち
生年月日 昭和十九年十二月十一日
住 所 岡崎市北野町



未来をつくるのは

日々の営み

六名小
十河 幸代

この春から、新学習指導要領完全実施に向けた教育活動が始まった。外国語教育においては、高学年で「外国語科」を、中学年で「外国語活動」の授業が展開されていく。日本語であろうと英語であろうと、ことばの学習は、人の考え方にも影響を及ぼす一大事である。きちんと対応し、未来を担う子供を育てていきたい。

中学校で英語を教えていたころ、私は頻繁に「継続は力なり」と掲げて指導にあたっていた。こつこつと勉強することによって力をつけていくということは、当然と言えば当然のことである。この「継続」、最近になって、とても大切であることを再認識している。毎日同じ時刻に同じ道を通り、学校に向かう。あるとき、通学路にそれまで気が付かなかつ



一緒に頑張ろう

井田小
松野恵理奈

「自由に歌えないなら、もう合唱なんてやめたい。」

そう言って、A子は涙を流した。歌うことが大好きなA子。家ではいつも鼻歌を歌い、将来は歌手になることが夢だと言う。そんなA子は、四年生になると、大好きな歌がたくさん歌えることを期待して、合唱部へ入部した。

部活動初日に、A子の声を聴いて驚いた。音量があり、声の質もよく、誰よりも生き生きとした表情で歌っていた。この子の歌声は伸びる。この子の声で、井田小合唱部の歌声をつくってほしいという願いを込め、指導を進めていった。発声の基礎練習では、大好きな歌をもっと上手に歌えるようにしたいと、熱心に練習に取り組んだ。しかし、いざ部員と一緒に歌うと、周りの声とうまく交わらない。とにかく自分の声を聴いてほしいという思いで歌っていることが見てとれた。そこで、

「もつと周りのみんなの声を聴いて、合わせて歌ってごらん。」と声を掛けた。しかし、A子は表情を曇らせ、なかなか改善しようとしなかった。

ある日のパート練習中、A子は六年生の部員に、もつと周りに合わせるように注意された。私にも、先輩にも同じことを注意され、練習していた部屋を飛び出した。彼女を追いかけ、声を掛けると、

「自由に歌えないなら、もう合唱なんてやめたい。先生も、先輩も、私にばかり注意する。私のことが嫌いだから注意するんだ。」

と、泣きじゃくりながら訴えた。A子が落ち着くまで、彼女の言い分をじっくり聞いた。そして彼女が落ち着いたころ、

「本当に合唱やめたいの。歌が嫌いになったの。」

と尋ねた。するとA子は、「……歌は大好きだけど。」とつぶやいた。

「そうだよね。先生も合唱を始めたばかりのころ、A子と同じ気持ちになったことがあるよ。」と伝えた。すると、うつむいていたA子が驚いたように

「先生も私と同じだったの。」と言った。顔を上げた。

「そうだよ。でも、周りの声を聴いて、合わせようと意識したら、今まで以上に歌うのが楽しくなったよ。みんなA子に期待してる。一緒に頑張ろうよ。」



その日の練習後、A子が私のところに駆け寄ってきた。そして、

「やっぱり合唱やめないことにした。先生、私、頑張る。」

と恥ずかしそうに思いを伝えた。その日を境に、A子は今まで以上に熱心に練習に取り組み、その声は、井田小合唱部の中心となっていた。

六年生になり、A子は、ソプラノのパートリーダーに推薦された。最後のコンクール数日前、パートリーダーとしての責任を強く感じすぎたのか、A子が、

「私の声 みんなの邪魔をしているかもしれない。」と涙を流した。

「邪魔どころか、みんなの歌声を支えてくれてるよ。楽しんで歌うあなたに支えられている。みんなの声を聴きながら歌えるあなた。その成長がいちばんうれしい。」

そう声をかけると、A子は笑顔でうなずいた。

コンクール当日。A子が皆と声を合わせ、楽しそうに歌う姿に、「やめたい」と訴えたあの日のA子が重なった。この子と一緒に頑張ってきたよかったです、心から思った。

た花が咲いていることに目が留まる。これは、毎日の行為(継続)があったからこそその発見である。さらに、毎日歩くからこそ体力もつく。

私たち学校の教員は、毎日子供たちと直接顔を合わせ、過ごしている。これは、何にも変えがたい教員の強みである。教育理論については、教育学の方が、専門的で強いかもしれない。子供を育てている保護者は、子供のことを教員以上によく分かっているだろう。でも、教員だからこそやれることがあるはずである。毎日教壇に立ち、授業をすることで、子供たちの変化や成長に気付くことができる。そして、地道に毎日の学校生活を送らせることで、子供たちの成長を促すのである。

今、日本社会は多くの課題を抱えている。社会はかつてないほどのスピードで変化し、予測困難な時代を迎えようとしている。そんな中だからこそ、私たちは、日々の営みを地道に継続して進めることが大切である。そして、家庭、地域とともに、こつこつと取り組んでいくことが大切である。

以前、友好都市である呼和浩特市の先生方が、「教育は未来をつくる営みである」と目を輝かせ、誇りに満ちて語っていたことが、今も脳裏に焼きついている。未来は今つくられている。

校章あれこれ

～中学校編～



▲ 生徒の活動を見守る学校のシンボル

校章とは、その学校を象徴するためにデザインされたものである。その学校への所属を表したり、他校との識別をしたりする。市内中学校の、校章の成り立ちを調べてみると、その背景は様々であり、興味深い。今回はそれぞれの背景をもとに、大きく「歴史・風土」「ねがい」「文字デザイン」の三つのタイプに分けてみた。

例えば、甲山中学校の校章は、徳川四天王の一人である本多平八郎忠勝が着用した兜の鹿の角をモチーフにし、質実剛健の校風を表している。六ツ美北中学校の校章は、中央の三本線で六ツ美の大地を育んだ矢作川の流れを表し、「北」の文字を左右に広げた翼の形にすることで、六ツ美の生徒と郷土が健やかに発展していくことを願っている。一つ目は、こうした地域に縁のある人物や、歴史的な背景、風土を表したタイプである。

二つ目は、城北中学校や東海中学校のように、学校や学区、生徒に対するねがいや教育目標をデザイン化したタイプである。

そして、三つ目は、竜海中学校や六ツ美中学校のように、生徒や教職員が校名の文字をデザイン化し、力強く表現したタイプである。

校章には、開校当時の生徒や教職員の夢や希望、学区の方の学校に対する期待が表れている。どんな学校にしたいか、どんな生徒を育てたいか、各学校の原点に立ち返る視点を与えてくれる。



文字デザイン

校名を図案化したもの。



〔4〕 竜海中



〔3〕 南中



〔2〕 美川中



〔13〕 六ツ美中



▲ 体育館の入口に設置されている校章 (美川中)

歴史・風土



柏は知恵を、梅は学問を象徴し、基礎学力の育成と生きる知恵を志向している。(11 岩津中)

徳川家の紋章「三ツ葉葵」を借り、その中に「中」の文字を配したものの。(5 葵中)



徳川四天王の一人、本多平八郎忠勝の兜の鹿の角を表す。(1 甲山中)

藩主大給公の紋章「つた」をかたどり、その中に校名を入れた。(15 新香山中)



三重の輪は、矢作川と青木川を表している。輪の三か所には、龍城と呼ばれた岡崎城の竜の爪を取り入れており、岡崎の風土を盛り込んでいる。(17 北中)

緑丘学区と上地学区の二頭の竜で、竜南を守るよう形づくりされている。(16 竜南中)



中央の三本戦で六ツ美の大地を育んだ矢作川の流れを表している。(18 六ツ美北中)



ねがい



左右を囲む北の文字は、生徒・職員・保護者の希望と団結を表している。(6 城北中)

円を基調としたデザインには「圓く治める」の願いが込められている。(9 河合中)



翼を大きく広げて躍進を誓っている。(20 翔南中)

鳩は、日本の永遠の平和と男女共学の中学校教育の振興を表している。(7 福岡中)



常磐の緑が永遠に続き栄えるようにと願いを込め、常緑樹の代表である「松」をデザインに盛り込んでいる。＊常磐には、永久不変の意味がある。常緑木は常緑樹のことを指す。(10 常磐中)

山中・藤川・竜谷・本宿の4つの村の人たちの輪、一致団結、協力を願ったものである。波のしぶきも4つあり、荒波に負けず、東海の雄となる意気が願いとして込められている。(8 東海中)

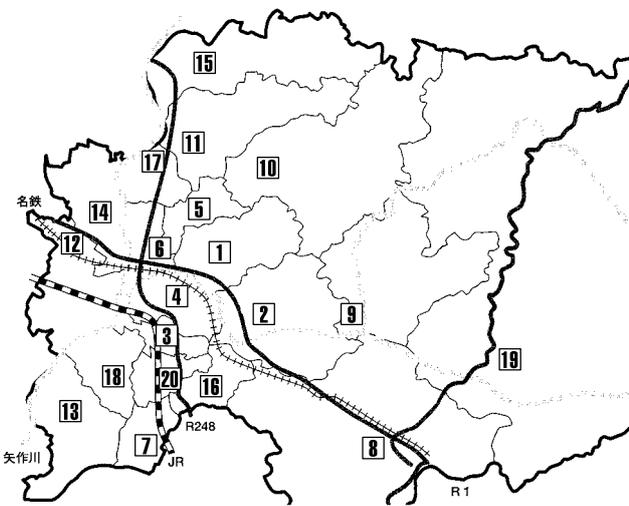


矢作の地名の由来となった、日本武尊の矢が描かれている。(12 矢作中)

矢作中学校の北に位置したことから、校章に北の文字が加えられた。(14 矢作北)



▲ 登校する生徒を迎えるように校舎に設置された校章 (新香山中)



額田の「ぬ」をもとにしたデザイン。両端の翼は、若人の飛躍発展を、ペンの鋭角で勤勉と質実の校風を強調している。(19 額田中)





● 中学生三大陸
国際理解教育推進事業

1 概要

ニューポートビーチ市（アメリカ）、ウツデバラ市（スウェーデン）、ウイトルシー市（オーストラリア）の三都市と交流を行います。今年は初めて、ウイトルシー市から七名の中学生を受け入れました。交流を通して、英語によるコミュニケーション能力の向上と国際理解の推進を図ります。

2 日程

- ・ニューポートビーチ市
 - 派遣 9/26(水)～10/4(木)
 - 受入 6/29(金)～7/5(木)
- ・ウツデバラ市
 - 派遣 9/26(水)～10/4(木)
 - 受入 10/19(金)～10/26(金)
- ・ウイトルシー市
 - 派遣 10/21(日)～10/29(月)
 - 受入 7/8(日)～7/12(木)

ウツデバラ市			
団 長	竜海中学校	校長	加藤 勝 巳
副団長	大門小学校	教諭	石原 有 理
団 員	美川中学校	3年	土岐 脩 真
団 員	竜海中学校	3年	阿部 紗 季
団 員	葵中学校	3年	小笠原 日 和
団 員	福岡中学校	3年	岡田 諒
団 員	常磐中学校	3年	下川 颯 大
団 員	六ツ美北中学校	3年	岸 花 音

ニューポートビーチ市			
団 長	北中学校	団長	荻野 卓 寛
副団長	南中学校	教諭	寛 真由美
団 員	南中学校	3年	牛田 有梨花
団 員	河合中学校	3年	畔柳 愛 海
団 員	矢作中学校	3年	生駒 芽 依
団 員	六ツ美中学校	3年	打越 龍 季
団 員	矢作北中学校	3年	福本 翔 梧
団 員	竜南中学校	3年	河合 健太郎
団 員	額田中学校	3年	小林 初 音



ウイトルシー市			
団 長	岩津中学校	校長	長 坂 洋 人
副団長	甲山中学校	教諭	稲垣 里栄子
団 員	甲山中学校	3年	平野 翔 大
団 員	城北中学校	3年	清水 茉鈴奈
団 員	東海中学校	3年	鈴木 も も
団 員	岩津中学校	3年	浅野 寿 佳
団 員	新香山中学校	3年	原田 和 香
団 員	北中学校	3年	倉知 優 斗
団 員	翔南中学校	3年	齊藤 秀 真



▲ H30年度 岡崎市派遣団員

● ハートピアだより

ミニギャラリー竜美

ハートピア岡崎では、年に四・五回、体験学習に出掛けている。竜美では、六月におかざき世界子ども美術博物館での造形教室に参加して、木工マグネットの制作に取り組んだ。作業ブースに入ると、事前に予約しておいたお気に入りパーツが作業台に並べられており、着座するとすぐに制作活動に取り掛かることができた。係員の方のお心遣いに感謝である。



前もって準備しておいた下絵を見ながら、犬や昆虫、花などを型取ったパーツに、描いてきた絵や図柄を写し取り、

制作に入った。夢中になって描く姿は真剣そのもの。息を詰めてマーカーペンを握り、細かな部分に色付けする繊細な指先の動きは見事である。通所生を見ていて、なんと手先の器用な子たちが多いことかと驚かされる。昨年の卒所生に、とても絵の上手な生徒がいた。将来は手工芸やアニメクリエイターなどの分野で活躍するかもしれないと、密かに期待している。



完成した作品は、家に持ち帰らせ、家族に見てもらってから所内に展示した。作品を眺めていると、個々の持ち味が、作品の色使いから感じられる。淡い色合いは優しさを醸し出し、太い縁取りは力強さを漂わせる。個性あふれる作品は、所内の小さなギャラリーで、堂々と光り輝いている。

◆平成30年度授業力・教師力アップセミナー【応用編】

【8月6日(月)】 8:50		
講習名	会場	講師名
小学校国語科教育	総合学習センター2F 教育研究室2	大西 裕子
中学校社会科教育	総合学習センター2F 教育研究室3	中西 勉
小学校算数科教育	総合学習センター2F 教育研究室1	北村 文啓
中学校理科教育	総合学習センター3F 教材開発室2	山元 嘉与
小学校音楽科教育	美川中学校 音楽室・図書室	柴田 知子
小学校図画工作科教育	消防本部3F 講堂	太田 幹雄
小学校体育科教育	竜南中学校 体育館・音楽室	浅井 貞人
中学校技術科教育	東海中学校 木工室・パソコン室	夏目 弘之
中学校英語科教育	総合学習センター3F 教材開発室1	石川 敏幸
健康教育	総合学習センター2F 小ホール	鈴木 明
【8月7日(火)】 8:50		
講習名	会場	講師名
中学校国語科教育	総合学習センター2F 教育研究室1	丹羽 郁人
小学校社会科教育	総合学習センター3F 教育研究室1	石原 真吾
中学校数学科教育	総合学習センター2F 教育研究室3	畔柳 英徳
小学校理科教育	総合学習センター3F 教材開発室2	荻須 文裕
中学校音楽科教育	矢作北中学校 音楽室・図書室	酒井 洋一
中学校美術科教育	子ども美術博物館 視聴覚室	長谷川勝一
中学校保健体育科教育	竜南中学校 体育館・音楽室	清水佐知子
小・中学校家庭科教育	美合小学校 家庭科室・図書室	杉山 文子
小学校外国語活動	総合学習センター2F 教育研究室2	伊奥田美智代
命の教育	総合学習センター2F 教育研究室4	蒲野 由紀
幼児教育	総合学習センター2F 小ホール	鈴木 晴美
【8月8日(水)】 8:50		
講習名	会場	講師名
道徳教育	総合学習センター2F 小ホール	清水 良隆
特別活動・学級経営	総合学習センター2F 教育研究室3	鈴木 誠
生活科・総合的な学習	総合学習センター2F 教育研究室1	船越 学
情報教育	男川小学校 パソコン室	本間 茂夫
発達障がい児の理解と支援	消防本部3F 講堂	鳥居 是典
生徒指導	総合学習センター2F 教育研究室2	中垣 明道
保健	総合学習センター3F 教材開発室1	山本 照司

●授業力・教師力アップセミナー

今年度も、夏季休業中に授業力・教師力アップセミナーを開催する。「基礎編」では、下の表のように、十八の研修会を設けている。「応用編」は、「岡崎市免許状更新講習」の選択講習を兼ねた内容で行う。今年度は、八月六日、七日、八日の三日間にわたり、二十八の講座を設定している。

本セミナーを通して、知識や技術を身につけ、教師としての専門性を高めてほしい。

◆平成30年度授業力・教師力アップセミナー【基礎編】

月日	教科・領域	場所	開講式 閉講式
8/3(金)	国語・書写	岡崎市勤労文化センター	09:15 12:00
8/2(木)	社会	男川浄水場	09:00 12:00
8/2(木)	算数・数学	岡崎市民会館 (集会室 大会議室)	09:15 11:20
8/3(金)	理科	小豆坂小学校	09:00 12:00
8/3(金)	生活	竜美丘会館 (301号室)	09:15 11:50
8/2(木)	総合的な学習の時間	総合学習センター (教育研究室2)	09:10 12:00
7/31(水)	音楽	総合学習センター (小ホール)	09:10 11:50
8/2(木)	図工・美術	おかざき世界子ども美術博物館 (視聴覚室)	09:30 12:00
8/3(金)	保健体育	井田小学校 (体育館)	09:00 12:00
8/2(木)	技術・家庭科	城北中学校 (パソコン室)	09:30 11:50
8/2(木)	家庭科	美合小学校 (家庭科室)	08:50 12:00
8/3(金)	英語	総合学習センター (教育研究室2)	午前の部 09:10 11:15 午後の部 13:45 16:10
8/3(金)	道徳	大平市民センター	09:15 11:45
8/3(金)	特別支援教育	総合学習センター (小ホール)	09:15 12:10
8/2(木)	学習情報	男川小学校 (パソコン室)	09:00 15:30
8/3(金)	学校図書館	岡崎市図書館交流プラザ「りぶら」 (りぶらホール)	09:30 11:40
8/3(金)	学校保健	岡崎市勤労文化センター	14:00 16:20
8/3(金)	生徒指導	教育相談センター (プレイルーム)	09:15 11:45

●表彰

◆第15回愛知レディース陸上競技大会

- 中学の部 一〇〇m 三位 竜海中 手島 美咲
- 中学の部 走高跳 優勝 福岡中 野村 美咲
- 中学の部 二〇〇m 二位 矢作中 中根 葵

◆第12回愛知県女子剣道段別選手権大会

- 中学初段の部 三位 竜海中 山下 麻織
- 三位 矢作中 原田 知里

◆第35回NHK杯全国中学校放送コンテスト愛知県大会

- テレビ番組部門 最優秀賞 北中 メディア部
- 優良賞 新香山中 パソコン部
- ラジオ部門 優良賞 新香山中 パソコン部
- 朗読部門 優良賞 北中 兵藤瑛美莉

◆第25回わんぱく相撲愛知ブロック大会

- 五年生の部 男子 三位 岩津小 峰村 遥人
- 四年生の部 男子 二位 福岡小 日高 蒼矢
- ◆第40回愛知県中学生相撲大会 ○個人 男子 優勝 常磐中 酒部 源太

◆公募第44回教育競書展(牧書会)

- 春日市市長賞 竜南中 松村 千慧
- 県議会議長賞 竜南中 小宮 葵
- 牧書会賞 竜南中 加茂 恵菜
- 会長賞 美川中 大野友美加

◆カラテドリームフェスティバル2018国際大会

- 組手小学六年中量級男子 二位 豊富小 林 諒芽
- お詫びと訂正 七月号カット 長坂有里乃 翔南中↓北中 お詫びして訂正します。

・カ
ツ
ト
甲山中
大竹紗弥加

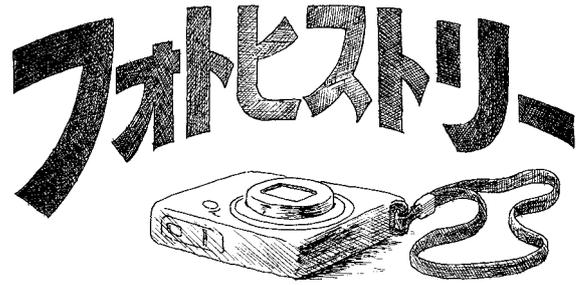
アースワーク展 (昭和55年)

写真提供：矢作中学校

写真は昭和五十五年、矢作川の砂地に、縦横三メートルほどの巨大なレリーフが作り上げられたときのものである。レリーフは、スコップやこてなどの道具を使い、丸みやくぼみなども繊細に制作される。矢作中のアースワークは、デザイン募集から制作計画まで、全て学級で相談して行われる。学級の仲間の輪も同時に作り上げていくのだ。

長く続く伝統行事は、かつて自分も経験したという保護者や地域の方が活動の様子を見学に来ることが多く、地域に愛され、見守られている。

岡崎では、伝統となつている独自の学校行事がいくつもある。その学校にとって昔から変わらない価値が認められ、脈々と受け継がれている。



登校する生徒を迎えるように校章が輝く。各学校の校章には、開校当時の願いや、思い、地域の特色が表れている。

勤務する学校の成り立ちや、歴史を知ること、その学校が大切にしてきたことを見つめてみたい。

保全活動を通して、人々の協力の輪が広がっていく。

それぞれの立場で手間を惜しまず協力する人々がいるからこそ、困難な事業も成し遂げられる。教育現場でも、「チーム学校」として、全職員で子供たちを育てていきたい。

どホ

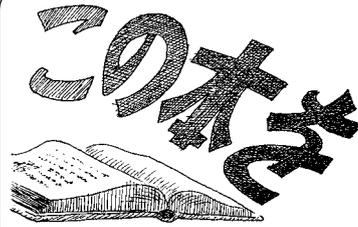
葉目ツ



プール開放 (北野小)

「次は、どんな花火が上がるかな」と胸が躍る。子供のころ、家族と見た夜空に咲く壮大な花。腹にも響く爆発音に胸が高まったことを思い出す。

この夏休み、家族と過ごす時間が増える。子供たちに、団らんの一とときを楽しんでほしい。



*非営利組織の経営
ダイヤモンド社

P.F.ドラッカー
¥1,800

心に残った一文

今日でも私は、いつもこの問い、「何によって憶えられたいか」を自らに問いかけている。

本著には、学校をはじめとする非営利組織が、ミッションをいかに達成していくかが綴られている。

読み手は、必然的に「ミッション」、「求められるリーダーシップ」、「組織を活性化させる管理法」といった問題と対峙することとなる。

学校のミッションは、「子供を幸せにすること」である。そのミッションを達成するために、教員は何をすべきか。示唆に富んだ教えが本著にはある。

*茨木のり子詩集
岩波文庫

茨木のり子
¥700

*働く君に贈る25の言葉
WAVE出版

佐々木常夫
¥1,400

*本日はお日柄もよく
徳間文庫

原田 マハ
¥648

福岡小

伊澤 勉